

**【理工系(化学)】**

<b>研究課題名</b>	斬新かつ実用性を追求した生体機能分子の合成研究
<b>研究代表者</b>	福山 透 ( 東京大学・大学院薬学系研究科・教授 )
<b>研究の概要</b>	日本は高齢化社会を迎え、がんやアルツハイマー病といった難治性疾患の克服に対する社会的要請が強く、新規医薬品の開発に対する期待は極めて大きい。とりわけ新規医薬品のシーズとして、幅広い構造および生理活性の多様性を持つ天然有機化合物に注目が集まっている。しかしながら天然有機化合物は複雑な構造を有する化合物が多く、優れた活性を有しているながらも、その複雑さ故に化合物およびその類縁体の合成・供給に問題を生じ、医薬品開発にまで至らないことがある。そこで本研究では、合成デザインの卓抜性を追求することにより、医薬品として期待される複雑な構造を有する天然有機化合物の量的供給を実現し、更には確立した合成ルートを基盤とし天然からは得られない新規類縁体の合成を行い、新規医薬品のリード化合物を創出することを目的とする。
<b>研究者数・期間</b>	3人 (平成20年度 ～ 平成24年度)